



被災半島部・浜支援ワーク 牡蠣の養殖のお手伝い

YMCA 石巻支援センターでは、2013年夏より石巻・牡鹿半島の被災した浜にて、牡蠣養殖支援を行っています。震災後この浜で牡蠣養殖業を復旧させた業者は半分にとどまっています。(14件中7件)。復旧しても人手や資金不足、震災前にはあった販路がない、といった問題を抱えている業者さんもいます。

牡蠣養殖業者にニーズ調査を行ったところ、短期間の滞在のボランティアでもお手伝いができる事があることが分かったので、人手不足の作業をボランティアがお手伝いさせて頂いています。シーズンによって必要な作業は異なりますが、牡蠣が次第に大きくなり出荷のピークを迎えようとしている最近では、海から引き上げた牡蠣の洗浄作業をお手伝いさせて頂いています。海から引き上げたばかりの牡蠣には、フジツボやムール貝、海藻などが沢山付着しているため、見栄えを良くするためにそれらを一一つついねいに取り除いていきます。10月下旬のワークでは、8人のボランティアの手により、2日間で1200個余りの牡蠣を綺麗にしました(右写真)。



成熟した二年物の牡蠣を海から引き上げ、付着した貝や海藻を取り除く作業。出荷のための準備です。

震災前、この浜では、取れた牡蠣を近くの牡蠣処理場で牡蠣の殻剥きをし、滅菌をして、生食でも食べられる剥き身で出荷していました。しかし、処理施設は津波によって全壊し、今だに復旧していないため、保健所の指導により牡蠣を剥いて出荷することができません。そこで現在牡蠣業者は、牡蠣を殻付きのまま出荷しています。そのため、今回ボランティアがお手伝いさせて頂いた牡蠣の表面の洗浄作業は、震災後から行っている新しい作業です。

また、この浜の牡蠣業者は、震災前は牡蠣を大量生産して漁協に卸すのが主な販路でしたが、震災後は漁協と価格交渉をしてきた同じ浜のベテラン漁師がいなくなってしまったために、今では漁協を通さない独自の販路を開拓しようと試行錯誤を始めました。漁師自らが首都圏に営業へ向かうこともありますが、震災後生食用の牡蠣が出荷できなくなったことで、様々な挫折を味わったともいいます。

写真のように被災した浜に赴き直接お手伝いすることも復興支援ですが、被災地にいなくてもこのような商品を購入することも復興支援活動と言えるでしょう。これから益々旨みが増す石巻牡蠣、みなさんも一度試してみてくださいはいかがでしょうか。



牡蠣養殖の仕掛け作り。このホタテ貝を海中に置いておくと、そこに海中の牡蠣の赤ちゃんが付着します。



牡蠣の赤ちゃんがついたホタテ貝を糸でしばり、海に沈めるための準備作業

東日本大震災復興支援募金

・ゆうちょ銀行(郵便振替)

振替口座:00120-7-714728

名義:公益財団法人 東京 YMCA

・銀行振り込み

みずほ銀行 神田支店 普通 1677931

三井住友銀行 神田支店 普通 7656469

名義:公益財団法人 東京 YMCA

※「東日本震災」とお書き添えください。